

質問紙調査分析 1 (小学校)

【3 4】5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

選択肢	全国児童数の割合(%)	神栖市児童数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14 問)	算数 (16 問)	理科 (17 問)	国語 (14 問)	算数 (16 問)	理科 (17 問)
1 当てはまる	34.6	41.0	71.1 (9 問)	63.6 (10 問)	61.6 (10 問)	71.2 (9 問)	61.9 (9 問)	62.0 (10 問)
2 どちらかといえれば当てはまる	49.0	48.0	66.5 (9 問)	57.2 (9 問)	56.8 (9 問)	66.7 (9 問)	55.6 (8 問)	57.7 (9 問)
3 どちらかといえれば当てはまらない	13.2	19.5	61.5 (8 問)	51.4 (8 問)	51.4 (8 問)	56.4 (7 問)	50.6 (8 問)	49.8 (8 問)
4 当てはまらない	3.0	1.6	59.6 (8 問)	51.0 (8 問)	49.8 (8 問)	54.3 (7 問)	40.6 (6 問)	34.1 (5 問)

<分析>

「当てはまる、どちらかといえれば当てはまる」と回答した児童は、平均正答率が高い傾向にある。個に応じた教え方、教材、学習時間などをクラスの実態に合わせて授業をすることが大切といえる。

<授業改善の視点>

- 単元計画や身に付ける資質・能力を児童と共有しながら授業を進めていますか？
- 児童が興味をもって学習できる教材になっていますか？
- 身に付けさせたい力が身に付くように、授業を組み立てていますか？
- 児童にあった教え方になっているか、自分の授業を振り返っていますか？

質問紙調査分析 2 (小学校)

【3 5】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか。

選択肢	全国児童数の割合(%)	神栖市児童数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14 問)	算数 (16 問)	理科 (17 問)	国語 (14 問)	算数 (16 問)	理科 (17 問)
1 当てはまる	41.2	42.0	70.9 (9 問)	62.8 (9 問)	61.2 (10 問)	72.5 (10 問)	63.6 (10 問)	64.4 (10 問)
2 どちらかといえれば当てはまる	44.0	44.0	66.6 (9 問)	57.4 (9 問)	56.9 (9 問)	66.1 (9 問)	55.1 (8 問)	56.6 (9 問)
3 どちらかといえれば当てはまらない	11.3	10.0	60.2 (8 問)	50.8 (8 問)	50.5 (8 問)	60.2 (8 問)	51.5 (8 問)	49.6 (8 問)
4 当てはまらない	2.6	2.4	54.5 (7 問)	44.5 (7 問)	44.5 (7 問)	35.2 (4 問)	26.3 (4 問)	27.3 (4 問)
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.7	0.6	49.9 (6 問)	42.2 (6 問)	41.6 (6 問)	35.7 (4 問)	14.1 (2 問)	19.1 (3 問)

<分析>

話し合う活動の中で、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができている児童は、平均正答率が高い傾向にある。視点や目的を明確にした話し合う活動が大切といえる。

<授業改善の視点>

- 話し合う活動の場を設定しますか？
- 話し合う活動の視点を明確にして話し合いをすすめていますか？
- 児童が自分の考えをもって話し合う活動に参加できるようにしていますか？
- 話し合う活動の後、児童が自分の考えについて振り返る時間を設けていますか？

質問紙調査分析3（小学校）

【36】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

選択肢	全国児童数の割合(%)	神栖市児童数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)	国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1 当てはまる	31.4	37.1	71.6 (10問)	64.6 (10問)	62.1 (10問)	71.4 (9問)	63.4 (10問)	63.0 (10問)
2 どちらかといえば当てはまる	48.2	48.8	67.0 (9問)	57.8 (9問)	57.3 (9問)	67.1 (9問)	56.0 (8問)	57.7 (9問)
3 どちらかといえば当てはまらない	16.9	11.7	61.9 (8問)	51.3 (8問)	52.0 (8問)	58.5 (8問)	48.2 (7問)	50.0 (8問)
4 当てはまらない	3.3	3.3	55.9 (7問)	45.7 (7問)	46.1 (7問)	51.4 (7問)	41.7 (6問)	42.4 (7問)

<分析>

学習内容の振り返りを行うことが、内容の理解や定着にも関係している。「どちらかといえばあてはまらない、当てはまらない」と回答している児童に、連續性を意識させることが大切といえる。

<授業改善の視点>

授業の目標を明確にし、児童と共有できていますか？

児童が主体的に活動できるような工夫をしてていますか？

よく分からなかった点を具体的に書かせていますか？また、書いた児童への補足等を行っていますか？

質問紙調査分析4（小学校）

【28】5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

選択肢	全国児童数の割合(%)	神栖市児童数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)	国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1 ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)	24.7	46.6	69.1 (9問)	60.4 (9問)	59.4 (10問)	71.1 (9問)	59.8 (9問)	60.7 (10問)
2 ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)	22.2	28.8	67.6 (9問)	59.2 (9問)	58.1 (9問)	64.2 (8問)	56.9 (9問)	57.1 (9問)
3 週3回以上	25.0	16.0	67.4 (9問)	59.1 (9問)	57.8 (9問)	67.1 (9問)	59.1 (9問)	59.2 (10問)
4 週1回以上	17.9	5.6	66.7 (9問)	57.2 (9問)	56.7 (9問)	63.5 (8問)	49.7 (7問)	52.6 (8問)
5 月1回以上	7.1	1.3	65.4 (9問)	55.9 (8問)	55.6 (9問)	58.9 (8問)	36.7 (5問)	47.8 (8問)
6 月1回未満	3.0	1.7	54.9 (7問)	44.5 (7問)	44.8 (7問)	40.0 (5問)	29.4 (4問)	32.4 (5問)

<分析>

授業での使用頻度と児童の正答率は比例関係ではない。端末も効果的に活用されていなければ、学力向上につながらないことも考えられる。

<授業改善の視点>

ノート指導や板書を大切にした上で、効果的なタブレット端末の使用となっていますか？

端末に頼りすぎると基礎力が育ちにくいことを理解し、観察・実験や生物を育てる等、体験も重視した指導をしていますか？

質問紙調査分析 1 (中学校)

【28】1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

選択肢	全国 生徒数 の割合 (%)	神栖市 生徒数 の割合 (%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRT スコア 理科	国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRT スコア 理科
1 ほぼ毎日 (1日に複数の 授業で活用)	29.5	82.7	56.8 (7問)	51.7 (7問)	517	52.4 (7問)	44.3 (6問)	492
2 ほぼ毎日 (1日に1回 くらいの授業)	23.7	9.8	55.6 (7問)	50.7 (7問)	511	45.1 (6問)	34.2 (5問)	439
3 週3回以上	23.3	4.6	53.9 (7問)	48.1 (7問)	501	37.4 (5問)	25.5 (3問)	408
4 週1回以上	15.7	1.1	53.0 (7問)	46.2 (6問)	493	42.9 (6問)	29.5 (4問)	404
5 月1回以上	5.3	0.6	52.3 (7.3問)	45.5 (6.8問)	491	35.7 (5問)	17.8 (2問)	356
6 月1回未満	2	1.0	43.9 (6問)	34.5 (5問)	437	40.0 (5問)	29.3 (4問)	370

<分析>

授業内で生徒がPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度と生徒の正答率は比例関係になっていない。授業の中のどの場面で、どのように使用するかなど効果的な使用が大切といえる。

<授業改善の視点>

- ノート指導や板書を大切にした上で、効果的なタブレット端末の使用となっていますか？
- 端末に頼りすぎると基礎力が育ちにくいことを理解し、観察・実験や生物を育てる等、体験も重視した指導をしていますか？

質問紙調査分析 2 (中学校)

【31】1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

選択肢	全国 生徒数 の割合 (%)	神栖市 生徒数 の割合 (%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRT スコア 理科	国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRT スコア 理科
1 発表していた	18.9	21.4	60.2 (8問)	58.4 (8問)	543	55.7 (7問)	49.3 (7問)	508
2 どちらかといえば、 発表していた	44.1	46.3	56.6 (7問)	52.2 (7問)	518	52.9 (7問)	45.6 (6問)	497
3 どちらかといえば、 発表していなかった	25.5	25.2	50.6 (7問)	42.3 (6問)	478	44.9 (6問)	33.4 (5問)	439
4 発表していなかった	9	4.9	47.5 (6問)	36.1 (5問)	454	42.0 (5問)	26.5 (3問)	440
5 考えを発表する機 会はなかった	2	1.8	45.8 (6問)	35.2 (5問)	444	27.0 (3問)	20.7 (3問)	356

<分析>

工夫して発表することができる生徒ほど、正答率が高い傾向であった。自分の考えを深めたり、広げたりする活動の中で自分の考えを工夫して発表することが大切といえる。

<授業改善の視点>

- 学習課題、学習問題をつかみ、解決する方向性、見通しをもたせていますか？
- 「根拠、理由、結論」と順序立てて考えをまとめる活動を行っていますか？
- 思考を交流させたり、協働して問題を解決したりする時間を設定していますか？

質問紙調査分析3（中学校）

【36】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

選択肢	全国生徒数の割合(%)	神栖市生徒数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRTスコア 理科	国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRTスコア 理科
1 当てはまる	23	29.7	59.8 (8問)	59.7 (9問)	546	54.2 (7問)	50.8 (7問)	510
2 どちらかといえば、当てはまる	50.4	45.9	55.3 (7問)	49.8 (7問)	507	50.6 (7問)	41.1 (6問)	479
3 どちらかといえば当てはまらない	21.3	19.4	50.0 (7問)	39.3 (5問)	471	46.6 (6問)	33.9 (5問)	454
4 当てはまらない	3.7	3.6	44.0 (6問)	30.9 (4問)	434	41.0 (5問)	24.2 (3問)	368

<分析>

授業における自分の学びや成長に気付くための「振り返り」が十分ではない状況が考えられる。分かったこと、分からなかったことを振り返り、より深い学びへつなげることが大切といえる。

<授業改善の視点>

- 授業の目標を明確にし、生徒と共有できていますか？
- 生徒が主体的に活動できるような工夫をしていますか？
- 前時の学習内容と結びつけて振り返りを記入していますか？
- 次に学習する内容について、見通しをもたせるような声かけができていますか？

質問紙調査分析4（中学校）

【37】授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っていますか。

選択肢	全国生徒数の割合(%)	神栖市生徒数の割合(%)	全国平均正答率% (正答数)			神栖市平均正答率% (正答数)		
			国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRTスコア 理科	国語 (14問)	数学 (15問)	平均IRTスコア 理科
1 当てはまる	23.5	26.4	58.0 (8問)	55.7 (8問)	532	52.9 (7問)	46.5 (6問)	488
2 どちらかいえば当てはまる	51.3	49.9	54.9 (7問)	49.0 (7問)	505	49.9 (6問)	41.1 (6問)	483
3 どちらかといえばあてはまらない	19.6	19.6	52.2 (7問)	44.1 (6問)	485	49.4 (6問)	40.3 (6問)	471
4 当てはまらない	4	2.6	48.1 (6問)	38.2 (5問)	458	50.5 (7問)	29.5 (4問)	400

<分析>

授業で学習したことが、他教科や実生活に結びつかず、うまく活用できていない状況が見られる。生徒の発達段階や既習事項を考慮し、各教科や領域の内容を段階的かつ螺旋的に構成し、知識や技能を深め、活用できるようにすることが大切といえる。

<授業改善の視点>

- 実生活に合った課題設定であり、身に付けさせたい力が明確になっていますか？
- 学習において自ら考え、選択し、決定する、発表する等を体験できる授業になっていますか？
- 学習内容に興味・関心をもち、また、日常生活や自分事として考えられるような課題設定が工夫されていますか？
- 問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりするような場面が設定できていますか？